

---

# 僕等の屍

桜木 次郎丸

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕等の屍

### 【Nコード】

N8223A

### 【作者名】

桜木 次郎丸

### 【あらすじ】

死んでしまった“僕”が無くしてしまった記憶を少しずつ取り戻していく物語。生きた記憶が逆から少しずつ明かされていきます。話の内容のひとつひとは、“僕”に関わった人々と“僕”自身の物語で構成されています。僕が生きた日々は平穏なんかじゃなかった

**\* 僕が死んだ時の話（前書き）**

残酷な描写が含まれる話もあります。ご理解の上ご観覧ください。

## \* 僕が死んだ時の話

あれ？…ああ、なんだそうか。僕死んじやっただ。

え？でも僕どうやって死んだんだろう。ん〜思い出せないや。

だけど、死に方なんてどうでもいい。だって死ねたんだもん。記憶に無いって事は…天国の神様が殺してくれたのかな？ん〜でもここ暗いし…なんにも聞こえない。天国がこんなに真つ暗な訳ないし、地獄も僕一人な訳ないよね…。

どこも痛くないし、血も出てない。僕が今まで見てきたモノとは全然違う。

…えっと、そういえば僕が今まで見てきたモノってなんだっけ？  
…思い出せない。

あ〜！…！もうイライラするなあ！なんで思い出せないんだよ！

もう…。ってこれじゃあ、僕の短気な性格丸だしじゃん。って短気…な性格？僕ってそんな性格だったの？僕…？僕って誰なんだろう。

あゝ駄目だ！こういう時は、冷静になって一個一個思い出していき〜！

ひとつひとつの記憶。僕の生きたセカイ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8223a/>

---

僕等の屍

2010年11月18日14時27分発行